

**村田雄二郎先生**  
**業績一覧**  
(2017年10月15日現在)

**【著書(共著)】**

- 『中国という視座』平凡社，溝口雄三・伊東貴之・村田雄二郎著，1995年6月，全301頁，第3章「中国近代革命と儒教社会の反転」(215-286頁)を執筆。
- 『罕為人知の中日結盟及其他——清末中日関係史新探』成都：巴蜀書社，孔祥吉・村田雄二郎著，2004年4月，全374頁，中国語。
- 『從東瀛皇居到紫禁城——晚清中日關係史上的重要人物与事件』広州：広東人民出版社，孔祥吉・村田雄二郎著，2011年1月，全422頁，中国語。
- 『清末中国と日本——宮廷・変法・革命』研文出版，孔祥吉・村田雄二郎著，2011年8月，全362頁。

**【編著】**

- 『帝国とは何か』岩波書店，山内昌之・増田一夫・村田雄二郎編，1997年2月，全270頁。「中国皇帝と天皇——一つの比較視座」(111-133頁)を執筆。
- 『東アジアにおける公共知の創出』東京大学出版会，佐々木毅・山脇直司・村田雄二郎編，2003年11月，全252頁。「現代日本のアジア研究とナショナル・アイデンティティ」(213-230頁)を執筆。
- 『「婦女雑誌」からみる近代中国女性』研文出版，村田雄二郎編，2005年2月，全408頁。序論「『婦女雑誌』と近代中国女性」(5-14頁)を執筆。
- 『漢字圏の近代——ことばと国家』東京大学出版会，村田雄二郎，C・ラマール編，2005年9月，全222頁。序章「漢字圏の言語」(1-13頁)およびコラムなどを執筆。
- 『シリーズ20世紀中国史 第1巻 中華世界と近代』東京大学出版会，飯島渉・久保亨・村田雄二郎編，2009年7月，全229頁。「総論」(1-12頁)および第10章「中華民族論の系譜」(207-229頁)を執筆。
- 『シリーズ20世紀中国史 第2巻 近代性の構造』東京大学出版会，飯島渉・久保亨・村田雄二郎編，2009年8月，全232頁。全体の編集を担当。
- 『シリーズ20世紀中国史 第3巻 グローバル化と中国』東京大学出版会，飯島渉・久保亨・村田雄二郎編，2009年9月，全230頁。全体の編集を担当。
- 『シリーズ20世紀中国史 第4巻 現代中国と歴史学』東京大学出版会，飯島渉・久保亨・村田雄二郎編，2009年10月，全254頁。「日本の20世紀中国史研究」を分担執筆。
- 『新編原典中国近代思想史 第2巻 万国公法の時代——洋務・変法運動』岩波書店，村田雄二郎責任編集，2010年4月，全351頁。「解説」(1-20頁)を執筆。

- 『新編原典中国近代思想史 第3巻 民族と国家——辛亥革命』岩波書店，村田雄二郎責任編集，2010年6月，全361頁。「解説」（1-22頁）を執筆。
- 『新編原典中国近代思想史 第5巻 国家建設と民族自救——国民革命・国共分裂から一致抗日へ』岩波書店，野村浩一・近藤邦康・村田雄二郎責任編集，2010年12月，全392頁。全体の編集を担当。
- 『インタビュー 戦後日本の中国研究』平凡社，平野健一郎・土田哲夫・村田雄二郎・石之瑜編，2011年7月，全389頁。野村浩一・溝口雄三への聞き書きを担当。
- 『リベラリズムの中国』有志舎，村田雄二郎編，2011年9月，全336頁。序章（1-12頁）および第2章（36-59頁）を執筆。
- 『総合研究 辛亥革命』岩波書店，辛亥革命百周年記念論集編集委員会（小野寺史郎・久保亨・中村元哉・深町英夫・村田雄二郎）編，2012年9月，592頁。序章「グローバルヒストリーの中の辛亥革命」（1-18頁）を執筆。
- 『講座東アジアの知識人 第1巻 近代国家の形成：日清戦争～韓国併合・辛亥革命』有志舎，趙景達・原田敬一・村田雄二郎・安田常雄編，2013年10月，全362頁。第1巻「総論」（1-13頁）と「王韜と鄭観応」（258-274頁）を執筆。
- 『講座東アジアの知識人 第2巻 近代国家の形成：日清戦争～韓国併合・辛亥革命』有志舎，趙景達・原田敬一・村田雄二郎・安田常雄編，2013年11月，全364頁。全体の編集を担当。
- 『講座東アジアの知識人 第3巻 「社会」の発見と変容：韓国併合～満洲事変』有志舎，趙景達・原田敬一・村田雄二郎・安田常雄編，2013年12月，全362頁。全体の編集を担当。
- 『講座東アジアの知識人 第4巻 戦争と向き合って：満洲事変～日本敗戦』有志舎，趙景達・原田敬一・村田雄二郎・安田常雄編，2014年3月，全396頁。全体の編集を担当。
- 『講座東アジアの知識人 第5巻 さまざまな戦後：日本敗戦～一九五〇年代』有志舎，趙景達・原田敬一・村田雄二郎・安田常雄編，2014年4月，全420頁。「総論」（1-15頁）と「座談会：近代東アジアのなかの知識人」（369-413頁）を共同執筆。
- 『共同討議 日中関係 なにが問題か——1972年体制の再検証』岩波書店，高原明生・菱田雅晴・毛里和子・村田雄二郎編，2014年9月，全141頁。全体の編集を担当。
- 『共和の夢 膨張の野望 1894-1924（日中の120年 文芸・評論作品選①）』岩波書店，張競・村田雄二郎編，2016年3月，全307頁。「解説」（271-302頁）を執筆。
- 『敵か友か 1925-1936（日中の120年 文芸・評論作品選②）』岩波書店，張競・村田雄二郎編，2016年4月，全315頁。「解説」（273-310頁）を共同執筆。
- 『侮中と抗日 1937-1944（日中の120年 文芸・評論作品選③）』岩波書店，張競・村田雄二郎編，2016年5月，全315頁。「解説」（273-310頁）を共同執筆。
- 『断交と連帯 1945-1971（日中の120年 文芸・評論作品選④）』岩波書店，張競・村田雄二郎編，2016年6月，全327頁。全体の編集を担当。
- 『蜜月と軋み 1972-（日中の120年 文芸・評論作品選⑤）』岩波書店，張競・村田雄二郎編，2016

年7月，全346頁。「解説」(301-340頁)を共同執筆。

- 公益財団法人東洋文庫超域亜州研究部門現代中国研究班主編『展望当代中国研究——檔案資料的内与外』，公益財団法人東洋文庫，2018年3月，280頁。全体の企画と編集を担当。中国語。

#### 【学術論文】

- 「五四時期の倫理問題」，村田雄二郎，『中哲文学会報』7号，1982年6月，75-93頁。
- 「李大釗と『孫呉合作』——呉佩孚との関係を中心に」，村田雄二郎，『猫頭鷹——近代中国の思想と文学』4号，「新青年」読書会，1985年12月，33-60頁。
- 「理と力——李大釗の『平民主義』」，村田雄二郎，『思想』765号，岩波書店，1988年3月，79-101頁。
- 「陳独秀在広州(1920~21年)」，村田雄二郎，『中国研究月報』496号，中国研究所，1989年6月，1-15頁。
- 「孔教と淫祠——清末廟産興学思想の一側面」，村田雄二郎，『中国——社会と文化』7号，東大中国学会，1992年6月，199-218頁。
- 「康有為と孔子紀年」，村田雄二郎，『学人』2輯，南京：江蘇文芸出版社，1992年7月，513-546頁。
- 「康有為的日本研究及其特点——『日本変政考』『日本書目志』管見」，村田雄二郎，『近代史研究』1993年第1期，中国社会科学院近代史研究所，1993年1月，27-40頁。中国語。
- 「康有為と『東学』——『日本書目志』をめぐって」，村田雄二郎，『外国語科研究紀要(中国語教室論文集)』40巻5号，東京大学教養学部，1993年3月，1-43頁。
- 「辛亥革命時期的“尊孔”問題——清末教育改革与張之洞」，村田雄二郎，『外国語科研究紀要(中国語教室論文集)』41巻5号，東京大学教養学部，1994年4月，53-61頁。中国語。
- 「“文白”の彼方に——近代中国の国語問題」，村田雄二郎，『思想』853号，岩波書店，1995年6月，4-34頁。
- 「中華世界の統合原理——台湾・チベット問題をめぐって」，村田雄二郎，中国研究所編『中国年鑑1996年版』，大修館書店，1996年6月，53-58頁。
- 「中華ナショナリズムの表象——顧頡剛における〈民族〉と〈文化〉」，村田雄二郎，『江戸の思想』8号，ぺりかん社，1998年5月，84-96頁。
- “Chinese Nationalism and Modern Japan : Imitation and Resistance in the Formation of National Subjects”，MURATA Yujiro, *Nation-State & Empire, Senri Ethnological Studies 51*, March 2000, pp. 25-42.
- 「ラスト・エンペラーズは何語を話していたか——清末『国語』問題と単一言語制」，村田雄二郎，『ことばと社会』3号，三元社，2000年7月，6-31頁。
- 「『翁同龢日記』改削史実」，孔祥吉・村田雄二郎，『中国研究月報』650号，中国研究所，2002年4月，17-28頁。
- 「日本の外交文書から見た翁同龢和罷免の真相」，孔祥吉・村田雄二郎，『中国研究月報』666号，

中国研究所，2003年8月，30-34頁。

- 「清代の正音教育と雍正帝」，村田雄二郎，『ODYSSEUS』8号，東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻，2004年3月，52-69頁。
- 「孫中山与辛亥革命時期的“五族共和”論」，村田雄二郎，『広東社会科学』2004年5期，広東省社会科学院，2004年5月，121-128頁。中国語。
- 「一九〇二年東京“支那亡国記念会”史実訂正」，孔祥吉・村田雄二郎，『歴史研究』2007年3期，2007年5月，180-185頁。中国語。
- 「敵の敵は友？——中米関係100年」，村田雄二郎，『アメリカ太平洋研究』8号，東京大学大学院総合文化研究科附属アメリカ太平洋地域研究センター，2008年3月，18-27頁。
- 「從日本両国档案看《国聞報》的内幕」（上/下），孔祥吉・村田雄二郎，『學術研究』2008年7月号/9月号，2008年7/9月，95-109頁・81-98頁。中国語。
- 「五四時期国語統一論争——從“白話”到“国語”」，村田雄二郎（趙京華訳），『東亜人文』1輯，北京：生活・讀書・新知三聯書店，2008年10月，135-164頁。中国語。
- 「清末の言論自由と新聞——天津『国聞報』の場合」，村田雄二郎，『近きに在りて』54号，汲古書院，2008年11月，2-16頁。
- 「章炳麟と支那亡国記念会」，孔祥吉・村田雄二郎，『孫文研究』45号，孫文研究会，2009年3月，61-74頁。
- 「東アジアはどこにあるか？：册封=朝貢体制論再考」，村田雄二郎，『アジア研究』5号，静岡大学人文学部，2010年3月，5-15頁。
- 「日本機密檔案中の白雲觀与高道士」，孔祥吉・村田雄二郎，『福建論壇・人文社会科学版』2011年1期，2011年1月，86-97頁。中国語。
- 「看辛亥革命在中国歷史上的位置——辛亥百年」，村田雄二郎，『讀書』389期，北京：生活・讀書・新知三聯書店，2011年8月，96-106頁。中国語。
- “The Regional Structure of the 1911 Revolution: The North and the South in Chinese History,” Murata Yūjirō, *Journal of Cultural Interaction in East Asia*, vol. 3, Society for Cultural Interaction in East Asia, March 2012, pp. 7-18.
- 「漢字簡化浅論——另一個簡体字」，村田雄二郎，汪暉・王中忱主編『区域：亞洲研究論叢（第2輯）重新思考二十世紀』，北京：清華大学出版社，2012年10月，292-302頁。中国語。
- 「超越“紀念史学”：日本紀念辛亥革命一百周年國際會議記」，村田雄二郎（張玉萍訳），『開放時代』2013年3期，広州市社会科学院，2013年5月，188-197頁。中国語。
- 「岡倉天心的中国南北異同論」，村田雄二郎，『華東師範大学学報（哲学社会科学版）』2015年4期，2015年7月，11-18頁。中国語。
- “The Late Qing ‘national language’ issue and monolingual systems: Focusing on political diplomacy,” Murata Yujiro, *Chinese Studies in History*, Volume 49, Issue 3, May 2016, pp. 108-125.
- 「超越富国強兵之夢：近現代東亞的四個“戰後”」，村田雄二郎，『開放時代』2016年6期，広州

市社会科学院, 2016年12月, 13-25頁. 中国語.

### 【分担執筆】

- 「3つの天安門 (特集: 天安門を考える)」, 村田雄二郎, 中国研究所編『中国年鑑 1990年版』, 大修館書店, 1990年6月, 42-45頁.
- 「余英時『中国近世の宗教倫理と商人精神』」, 村田雄二郎, 長崎暢子・山内昌之編『現代アジア論の名著』中央公論社, 1992年9月, 3-13頁.
- 「王朝・国家・社会——近代中国の場合」, 村田雄二郎, 溝口雄三他編『アジアから考える〔4〕社会と国家』東京大学出版会, 1994年3月, 37-68頁.
- 「中華ナショナリズムと『最後の帝国』」, 村田雄二郎, 蓮實重彦・山内昌之編『いま, なぜ民族か』東京大学出版会, 1994年4月, 30-49頁.
- 「中国マルクス主義と伝統文化——政統・親統・道統」, 村田雄二郎, 『岩波講座 現代思想〔2〕20世紀知識社会の構図』岩波書店, 1994年8月, 139-164頁.
- 「海と陸からの中国——漢化と洋化」, 村田雄二郎, 天児慧編『中国は脅威か』勁草書房, 1997年6月, 81-197頁.
- 「もう一つの簡体字——漢字とナショナリズム」, 村田雄二郎, 田中克彦ほか編『言語・国家そして権力 (ライブラリ関連社会科学第4号)』新世社, 1997年10月, 194-203頁.
- 「五四時期の国語統一論争——『白話』から「国語」へ」, 村田雄二郎, 小谷一郎ほか編『転形期における中国の知識人』汲古書院, 1999年2月, 3-39頁.
- 「20世紀システムとしての中国ナショナリズム」, 村田雄二郎, 西村成雄編『現代中国の構造変動 6 ナショナリズム: 歴史からの接近』東京大学出版会, 2000年3月, 35-68頁.
- 「国民統合における宗教と情報化——チベットの事例」, 村田雄二郎, 総合研究開発機構 (NIRA) ほか編『現代世界と宗教』国際書院, 2000年9月, 25-54頁.
- 「近代中国における『国民』の誕生」, 村田雄二郎, 国分良成ほか編『グローバル化した中国はどうか』新書館, 2000年9月, 172-198頁.
- 「現代日本の亞洲研究と民族認同」, 村田雄二郎, 蔣立峰編『当代日本社会思潮』北京: 世界知識出版社, 2001年9月, 270-283頁. 中国語.
- 「中国のナショナリズムと近代日本——国民形成における模倣と反発」, 村田雄二郎, 毛里和子・張蘊嶺編『日中関係をどう構築するか——アジアとの共生と協力をめざして』岩波書店, 2004年3月, 69-86頁.
- 「東アジアの思想連関——清末中国の『宗教』概念受容をめぐって」, 村田雄二郎, 三谷博編『東アジアの公論形成』東京大学出版会, 2004年12月, 223-244頁.
- 「清末民初: 康有為」, 村田雄二郎, 平石直昭・金泰昌編『公共哲学 17 知識人と公共世界』東京大学出版会, 2006年3月, 29-63頁.
- 「アジアからの問題提起——中国医学をめぐって」, 村田雄二郎, 『岩波講座哲学 15 変貌する哲

- 学』岩波書店，2009年7月，25-45頁。
- ・「冊封朝貢体制論再考：従日本の視点来看」，村田雄二郎，吳志攀・李玉編『東亜的価値』北京：北京大学出版社，2010年1月，147-159頁。中国語。
  - ・「日本の対華二一カ条要求と五四運動」，村田雄二郎，『岩波講座 東アジア近現代通史 第3巻 戦争と改造の時代——1910年代』岩波書店，2010年11月，324-343頁。
  - ・「韓国併合と辛亥革命——張謇をてがかりに」，村田雄二郎，国立歴史民俗学博物館編『「韓国併合」100年を問う 2010年国際シンポジウム』岩波書店，2011年3月，43-53頁。
  - ・「辛亥革命の歴史的位置——中国史の『北』と『南』」，村田雄二郎，『アジア遊学 148 王朝から国民国家へ——清朝崩壊 100年』勉誠出版，2011年12月，33-46頁。
  - ・「中国ナショナリズムにとってのモンゴル」，村田雄二郎，ボルジギン・フスレほか編『20世紀におけるモンゴル諸族の歴史と文化——2011年ウランバートル国際シンポジウム』風響社，2012年3月，103-109頁。
  - ・「歴史から見る現代中国の問題」，村田雄二郎，中国研究所編『中国年鑑 2012年版』毎日新聞社，2012年5月，67-72頁。
  - ・「思想史」，村田雄二郎，岡本隆司・吉澤誠一郎編『近代中国研究入門』東京大学出版会，2012年8月，204-232頁。
  - ・「從張謇の立憲運動看晚清中国人的日本観」，村田雄二郎（張玉萍訳），吳偉明編『在日本尋找中国：現代性及身份認同的中日互動』香港：香港中文大学出版社，2012年12月，265-280頁。中国語。
  - ・“The International Conference Commemorating the Centennial of the 1911 Revolution in China: Organization and Summary of the Tokyo Session’s Proceedings,” MURATA Yujiro, *NART (Asian Research Trend, New Series, Toyo Bunko)*, no. 8, March 2013, pp. 1-21.
  - ・「非対称な隣国——近代中国の自己像におけるロシア・ファクター」，村田雄二郎，望月哲男編『ユーラシア比較地域大国論 6 ユーラシア地域大国の文化表象』ミネルヴァ書房，2014年3月，105-127頁。
  - ・「ナショナリズム：中華民族の虚と実」，村田雄二郎，高原明生ほか編『東大塾 社会人のための現代中国講義』東京大学出版会，2014年11月，59-81頁。
  - ・「世界史中的辛亥革命」，村田雄二郎（袁広泉訳），日本文学文化研究機構現代中国区域研究項目編『当代日本中国研究（第4輯・歴史社会）』北京：社会科学文献出版社，2015年3月，27-41頁。中国語。
  - ・「晚清「国語」問題与単一語言制：以政治外交为中心」，村田雄二郎，彭小妍主編『翻訳与跨文化流動：知識建構、文本与文体的傳播』台北：中央研究院中国文哲研究所，2015年10月，193-221頁。中国語。
  - ・「強兵なき富強？ 近現代東アジアにおける四つの『戦後』」，村田雄二郎，ボルジギン・フスレ編『日モ関係の歴史，現状と展望——21世紀東アジア新秩序の構築にむけて』風響社，2016年



3月, 79-97頁.

- ・「康有為『大同書』から見る中国の民族問題」, 村田雄二郎, 宮嶋博史・裴宥燮編『東アジアから世界を見れば』ソウル: ノモブックス, 2017年6月, 370-395頁. 韓国語.
- ・「孫文以後の大アジア主義——民国期中国における日本認識をめぐって」, 村田雄二郎, 日本孫文研究会編『孫文とアジア太平洋——ネイションを越えて』汲古書院, 2017年11月, 27-52頁.

#### 【資料整理】

- ・『天安門の渦潮——資料と解説: 中国民主化運動』, 加々美光行監修・村田雄二郎監訳, 岩波書店, 1990年5月, 全306頁.
- ・「ハーバード・イェンチン図書館蔵 ピケンズ・コレクション『清真叢書』目録(附解題)」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』634号, 2000年12月, 28-39頁.
- ・佐藤鉄治郎著『一個日本記者筆下の袁世凱』, 孔祥吉・村田雄二郎編, 天津:天津古籍出版社, 2005年5月, 全398頁. 中国語. 解題として「大火焚焼後遺留の珍貴史料——評佐藤鉄治郎の《袁世凱》」(225-397頁)を共同執筆.
- ・『『婦女雑誌』総目録・索引』, 村田雄二郎編, 東京大学『婦女雑誌』研究会発行, 2006年11月, 全384頁. 中国語.
- ・『中島雄其人与《往復文信目録》: 日本公使館与総理衙門通信目録 1874-1899』, 孔祥吉・村田雄二郎編, 北京: 国家図書館出版社, 2009年3月, 全758頁. 中国語. 解題として「中島雄其人及其《往復文信目録》」(1-89頁)を共同執筆.
- ・『国聞報(外二種)』全10冊, 孔祥吉・村田雄二郎整理, 北京: 中国国家図書館出版社, 2013年12月, 全6056頁. 中国語.
- ・『辛亥時期袁世凱秘牘(静嘉堂文庫蔵檔)』, 劉路生・駱宝善・村田雄二郎編, 北京: 中華書局, 2014年9月, 全854頁. 中国語.
- ・「東洋文庫蔵『康有為先生手札』簡訳」, 村田雄二郎, 『東洋文庫書報』46号, 公益財団法人東洋文庫, 2015年5月, 85-97頁.
- ・『『順天時報』社論・論説目録』, 村田雄二郎監訳, 青山治世・関智英編, 公益財団法人東洋文庫, 2017年3月, 全382頁.

#### 【辞典／事典項目】

- ・南塚信吾責任編集『歴史学事典 4 民衆と変革』弘文堂, 1996年12月, 全740頁. 村田雄二郎, 「三民主義」を執筆.
- ・岸本美緒責任編集『歴史学事典 5 歴史家とその作品』弘文堂, 1997年10月, 全715頁. 村田雄二郎, 「胡喬木」「錢穆」を執筆.
- ・天兒慧・石原享一・朱建栄・辻康吾・菱田雅晴・村田雄二郎編『現代中国事典』岩波書店, 1999年5月, 全1457頁. 「華夷思想」「学生運動」「康有為」「顧頡剛」「五族共和」「胡適」「思想改

造」「实事求是」「大同思想」「中華民族」などの項目執筆と全体の編集を担当。

- ・ 溝口雄三・池田知久・丸山松幸編『中国思想文化事典』東京大学出版会，2001年7月，全513頁。村田雄二郎，「儒教」「学校・書院」を執筆。
- ・ N. J. Smelser and Paul B. Baltes (editors), *International Encyclopedia of the Social & Behavioral Sciences*, Pergamon, Oxford, October 2001. MURATA Yujiro, “Nationalism in East Asia” を執筆。
- ・ 田辺裕総監修『世界地理大百科事典 アジア・オセアニア』Ⅰ・Ⅱ巻，朝倉書店，2002年3月，全858頁。村田雄二郎，「韓国」「北朝鮮」「中国」「香港」「マカオ」「モンゴル」の項を監修。
- ・ 岸本美緒責任編集『歴史学事典 11 宗教と学問』弘文堂，2004年2月，全818頁。村田雄二郎，「国粹」「文学革命」「『文芸講話』」「白話運動」を執筆。
- ・ 猪口孝ほか編『国際政治事典』弘文堂，2005年12月，全1181頁。村田雄二郎，「漢奸」「教案」「三民主義」「総理衙門」「洋務運動」など21項目を執筆。
- ・ 新村出編『広辞苑（第六版）』岩波書店，2008年1月，全3458頁。村田雄二郎，東洋史・現代中国関係の項目改訂及び追加項目の選定・執筆。
- ・ 尾崎雄二郎ほか編『中国文化史大事典』大修館書店，2013年5月，全1506頁。村田雄二郎，「胡適」「陳独秀」「李大釗」「蔡元培」「京師大学堂」を執筆。
- ・ 岩波書店辞典編集部編『岩波世界人名大辞典』全2冊，岩波書店，2013年12月，全3608頁。村田雄二郎，編集協力者として項目選定などを担当。
- ・ 竹田晃ほか編『中国文化事典』丸善出版，2017年4月，808頁。村田雄二郎，「チャイニーズネス——中国人の一体感」を執筆。

#### 【翻訳】

- ・ 金観涛，劉青峰『中国社会の超安定システム——「大一統」のメカニズム』，若林正文・村田雄二郎訳，研文出版，1987年5月，206頁。
- ・ 樓宇烈「玄学と中国伝統哲学」，村田雄二郎訳，『中外日報』1987年8月28日，中外日報社，8-11面。
- ・ 李沢厚「中国におけるマルクス主義試論」（上・下），村田雄二郎訳，『思想』783/784号，岩波書店，1989年9/10月，105-135/111-135頁。
- ・ 劉志琴「八〇年代文化論ブームの現状と展望」，村田雄二郎訳，『中国図書』3巻9号，内山書店，1991年9月，2-7頁。
- ・ 李銀河「現代中国社会の準身分制について——幹部・労働者・農民」，村田雄二郎・村田久美子訳，『中国研究月報』535号，中国研究所，1992年9月，31-39頁。
- ・ 金観涛・劉青峰「中国文化 開放と多元化へ——80年代から90年代への変容を語る」，村田雄二郎訳，『世界』575号，岩波書店，1992年12月，326-336頁。
- ・ 金観涛・劉青峰「中国の歴史的サイクルから見た社会主義市場経済（中華文明のアポリア4）」，村田雄二郎訳，『世界』625号，岩波書店，1996年8月，326-336頁。



- ・ 胡垣坤・曾露凌・譚雅倫編『カミング・マン——19世紀アメリカの政治諷刺漫画のなかの中国人』, 村田雄二郎・貴堂嘉之訳, 平凡社, 1997年4月, 全176頁.
- ・ 汪暉『思想空間としての現代中国』, 村田雄二郎・砂山幸雄・小野寺史郎訳, 岩波書店, 2006年8月, 全326頁. 著者「自序」と第5章の翻訳, および「解説」執筆を担当.
- ・ 砂山幸雄責任編集『新編 原典中国近代思想史 第7巻 世界冷戦のなかの選択——内戦から社会主義建設へ』, 岩波書店, 2010年9月, 全410頁. 村田雄二郎, 陶孟和「中国社会科学者の任務」, 傅雷「米ソに対するわれわれの態度」の翻訳を担当.

## 【書評】

- ・ 「長沙『大公報』について」, 村田雄二郎, 『東方』21号, 東方書店, 1982年5月, 8-10頁.
- ・ 「『李大釗文集』の刊行に寄せて」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』449号, 中国研究所, 1985年7月, 30-32頁.
- ・ 「サイバネティックスから見た中国封建社会像——金観涛著『在歴史的表象背後: 対中国封建社会超穩定結構の探索』」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』450号, 中国研究所, 1985年8月, 41-43頁.
- ・ 「社会主義と中国特有の事情: 書評 李洪林著『四種主義在中国』(北京: 生活・読書・新知三聯書店, 1988年)」, 村田雄二郎, 『中国図書』1巻5号, 内山書店, 1989年5月, 6-7頁.
- ・ J・A・フォークル著・井上裕正訳『内藤湖南——ポリティックスとシノロジー』(平凡社, 1989年), 村田雄二郎, 『史学雑誌』98-10, 史学会, 1989年10月, 1714-1715頁.
- ・ 「反右派闘争から民主化運動まで: 書評 侯吉諒主編『從魏京生到吾爾開希——一九五七〜一九八九中国大陸民主運動総覧』(台北: 海風出版社, 1989年)」, 村田雄二郎, 『中国図書』2巻2号, 内山書店, 1990年2月, 9-10頁.
- ・ 合山究『雲烟の国——風土から見た中国文化論』(東方書店, 1993年), 村田雄二郎, 『しにか』4巻9号, 大修館書店, 1993年9月, 124-125頁.
- ・ 「党派から社団へ——桑兵『清末新知識界の社団与活動』(北京: 生活・読書・新知三聯書店, 1995年)」, 村田雄二郎, 『中国図書』8巻8号, 内山書店, 1996年8月, 9-11頁.
- ・ 初瀬龍平編著『エスニシティと多文化主義』(同文館, 1996年), 村田雄二郎, 『アジア経済』38-3, アジア経済研究所, 1997年3月, 91-96頁.
- ・ 「国民国家論をめぐる覚書——曾田三郎編『中国近代化の指導者たち』に寄せて」, 村田雄二郎, 『近きに在りて』33号, 汲古書院, 1998年5月, 81-87頁.
- ・ 「国語教科書という名の装置——藤井省三『魯迅「故郷」の読書史』」, 村田雄二郎, 『創文』399号, 創文社, 1998年6月, 18-22頁.
- ・ 毛里和子『周縁からの中国』(東京大学出版会, 1998年), 村田雄二郎, 『国際政治』121号, 理想社, 1999年5月, 201-204頁.
- ・ 石川禎浩『中国共産党成立史』(岩波書店, 2001年), 村田雄二郎, 『思想』932号, 岩波書店,

2001年12月, 118-122頁.

- 「20世紀中国と辛亥革命——辛亥革命90周年記念特集」, 村田雄二郎, 『近きに在りて』41号, 汲古書院, 2002年6月, 86-96頁.
- 孫歌『竹内好という問い』(岩波書店, 2005年), 村田雄二郎, 『思想』980号, 2005年12月, 90-94頁.

#### 【口頭発表】

- 「中華帝国から国民国家へ——清末の皇権の性格をめぐる」, 村田雄二郎, シンポジウム『中国』とは何か——『中国』概念の内包と外延」, 中国社会文化学会主催, 1996年9月, 東京大学.
- 「改革開放と中国のナショナル・アイデンティティ——知識人をめぐって」, 村田雄二郎, 共通論題「東アジアの国際関係と中国の構造変動」, 現代中国学会主催, 1996年10月, 早稲田大学.
- 「オリエンタリズムと現代中国」, 村田雄二郎, シンポジウム「オリエンタリズムの今日的位相」, 日本イスラム教会主催, 1997年10月, 専修大学.
- 「近代世界における日本文明——国民国家の形成と変容の比較文明学」, 村田雄二郎, 「近代世界における日本文明——国民国家の比較文明論」, 千里文化財団主催, 1997年11月, 国立民族学博物館.
- 「康有為と孔子紀年」, 村田雄二郎, 「戊戌維新百周年」国際シンポジウム, 北京大学ほか主催, 1998年8月, 北京. 中国語.
- 「近代中国における『国民』の誕生」, 村田雄二郎, 「21世紀の中国, 日本そしてアジア」国際学術討論会, カルビー日本研究基金主催, 2000年3月, 北京大学.
- 「現代日本のアジア研究とナショナル・アイデンティティ」, 村田雄二郎, 第二回日本研究者若手フォーラム「当代日本社会思潮」国際シンポジウム, 中国社会科学院日本研究所主催, 2000年12月, 北京.
- “Discourse of ‘Chinese Nation’ in Modern China”, MURATA Yujiro, India-Japan seminar on China studies, デリー大学主催, 2001年3月, ニュー・デリー. 英語.
- 「中国のナショナリズムと近代日本——国民形成における模倣と反発」, 村田雄二郎, 「21世紀のアジアを考える日中研究者フォーラム」第2回会議, 中国国際問題研究所主催, 2001年6月, 北京.
- 「辛亥革命期の五族共和論」, 村田雄二郎, シンポジウム「20世紀中国の構造変動と辛亥革命」, 辛亥革命研究会主催, 2002年1月, 日本女子大学. 中国語.
- 「清末民初の『公共人間と公共世界』——康有為『大同書』を中心に」, 村田雄二郎, 公共哲学京都フォーラム「近代中国の公共人間と公共世界」, 将来世代総合研究所主催, 2002年6月, 京都.
- 「辛亥革命期的五族共和論」, 村田雄二郎, 「孫文と世界」国際シンポジウム, 中山大学, 2004年7月, 広州. 中国語.

- 「現代日本の東アジア研究与国家認同」, 村田雄二郎, 台湾大学政治学研究所, 2004年11月, 台北. 中国語.
- “Theory of the East Asian Community and Awareness of Asia,” MURATA Yujiro, EU-東アジア シンクタンク円卓会議, 2005年11月, ブリュッセル.
- 「章炳麟と支那亡国記念会」, 孔祥吉・村田雄二郎, 「孫文生誕140周年記念シンポジウム」, 中国孫中山学会など主催, 2006年11月, 中山市. 中国語.
- 「東アジア国際秩序論再考——冊封=朝貢体制論覚書」, 村田雄二郎, 「東アジア思想史国際シンポジウム」, 東北師範大学歴史文化学院主催, 2007年8月, 長春. 中国語.
- 「清末の国語問題と単一言語制度——政治外交を中心に」, 村田雄二郎, 「周辺から見る中国」, 復旦大学文史研究院主催, 2007年12月, 上海. 中国語.
- 「晩清言論自由と報紙: 以『国聞報』為例」, 村田雄二郎, 「近現代中国リベラリズム研究」ワークショップ, 復旦大学歴史学系主催, 2008年9月, 上海. 中国語.
- 「漢字簡化浅論——另一个简体字」, 村田雄二郎, 「20世紀中国の政治と文化」国際シンポジウム, 清華大学中文系主催, 2008年10月, 北京. 中国語.
- 「京師白雲觀と晩清外交」, 村田雄二郎, 第二回「近代知と制度システムの転換」国際シンポジウム, 中山大学歴史学系主催, 2008年11月, 広州. 中国語.
- 「近年の日本における清末対外関係研究の概況」, 中国人民大学清史研究所, 2009年3月, 北京. 中国語.
- 「中国ナショナリズムにとってのモンゴル」, 村田雄二郎, 第3回ウランバートル国際シンポジウム「日本・モンゴルの過去と現在——20世紀を中心に」, モンゴル科学アカデミー主催, 2010年9月, ウランバートル.
- 「清末立憲運動における日中関係——張謇を中心に」, 村田雄二郎, 「従近現代日中文化交流看現代性及身份認同的探索」国際シンポジウム, 香港中文大学日本研究学系主催, 2011年11月, 香港. 中国語.
- 「韓国併合と辛亥革命」, 村田雄二郎, 国際シンポジウム“1911 Revolution in East Asia,” ソウル国立大学校, 2011年11月, ソウル. 中国語.
- “近世中国与辛亥革命 (Early Modern China and the 1911 Revolution: From the Perspective of Japanese Historiography)”, MURATA Yujiro, “China after Empire: 1911 Remembered,” The Fairbank Center for Chinese Studies, Harvard University, November 2011, Cambridge, Massachusetts. 中国語.
- 「漢字文化圏の同床異夢」, 村田雄二郎, “東アジア文化の中の中国 China in East Asian Culture,” 東北アジア財団・東アジア史研究フォーラム主催, 延世大学, 2012年11月, ソウル.
- 「辛亥革命期の民族問題と中国ナショナリズム——康有為『大同書』をめぐって」, 村田雄二郎, “The Life and Thought of Traditional Elite in East Asian Countries in late 19th Century-early 20th Century,” 成均館大学, 2013年8月, ソウル.
- 「《清室優待条件》小考」, 村田雄二郎, 「中華民国史研究フォーラム」, 中国社会科学院近代史研

究所民国史研究室主催，2013年10月，成都，中国語。

- 「対増淵龍夫的再思考」，村田雄二郎，国際シンポジウム「日本東洋史研究的回顧与反思：以増淵龍夫的研究与思考為中心」，中国人民大学，2013年11月，北京，中国語。
- 『『宗教』の誕生——近代東アジアにおける概念受容の一例』，村田雄二郎，シンポジウム「文化交流の視野における日本学」，四川外国語大学，2015年3月，重慶。
- 「岡倉天心の中国南北異同論」，村田雄二郎，シンポジウム「明清以来の地方意識と国家アイデンティティ」，華東師範大学，2015年3月，上海，中国語。
- “National Wealth without military strength?: The Four Postwar Eras in Modern East Asia,” MURATA Yujiro, “China and Japan, 1895–2015: History of Rivalry, War, Peace and Hostility,” 香港大学，2015年6月，香港，中国語 / 英語。
- 「超越富国强兵之夢——近現代東亞的四個“戰後”」，村田雄二郎，中国文化院主催「和平文化研討会」，香港都市大学，2015年12月，香港，中国語。
- 「孫文以後の大アジア主義——民国期中国における日本認識をめぐって」，村田雄二郎，孫中山生誕150周年記念国際シンポジウム「孫文とアジア太平洋——ネイションを越えて」，孫中山記念会主催，2016年11月，神戸大学。

#### 【その他】

- 「学際派の新雑誌の誕生——『走向未来』雑誌」，村田雄二郎，『季刊鄔其山』6巻19号，内山書店，1988年3月，12–13頁。
- 「印章のはなし（街談巷議）」，村田雄二郎，『中国研究月報』518号，中国研究所，1991年4月，34–36頁。
- 「王若水氏のこと」，村田雄二郎，『中国図書』3巻6号，内山書店，1991年6月，7–9頁。
- 「房子・生産・戸口——中国社会管見」，村田雄二郎，『UP』225号，東京大学出版会，1991年7月，15–19頁。
- 「大陸近刊康有為関係論著書目」，村田雄二郎，『東方』127号，東方書店，1991年10月，31–34頁。
- 「“吃”と“包”：中国式“大家拿主義”（光陰似箭）」，村田雄二郎，『中国研究月報』527号，中国研究所，1992年1月，34–35頁。
- 「毛沢東と火葬（光陰似箭）」，村田雄二郎，『中国研究月報』537号，中国研究所，1992年11月，48頁。
- 「馬鹿と聡明と（光陰似箭）」，村田雄二郎，『中国研究月報』547号，中国研究所，1993年9月，40–42頁。
- 「中華ナショナリズムの現在」，村田雄二郎，『世界』588号，岩波書店，1993年11月，127–135頁。
- 「民族問題 漢化・洋化・クレオール化」，村田雄二郎，『世界』598号，岩波書店，1994年8月，

112-115 頁.

- 「情報時代と漢字 (光陰似箭)」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』 563 号, 中国研究所, 1995 年 1 月, 46-47 頁.
- 「蒙蔵委員会とチベット (光陰似箭)」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』 579 号, 中国研究所, 1996 年 5 月, 49 頁.
- 「南米ガイアナ・スリナムの旅——カリブと中国」, 村田雄二郎, 『東方』 184 号, 東方書店, 1996 年 7 月, 2-7 頁.
- 「台湾の文字論争」, 村田雄二郎, 『図書』 603 号, 岩波書店, 1997 年 1 月, 1 頁.
- 「オリエンタリズムと現代中国」, 村田雄二郎, 『専修大学人文科学研究所月報』 第 185 号, 1998 年 3 月, 33-40 頁.
- 「イスラム茶との出会い (光陰似箭)」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』 601 号, 中国研究所, 1998 年 3 月, 55-56 頁.
- 「非『聖戦』の文化研究 (光陰似箭)」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』 649 号, 中国研究所, 2002 年 3 月, 50-51 頁.
- 「東アジア研究——誰にとって? 誰のための? (特集「二十一世紀の日本に東アジア文化研究は必要か?」私の意見)」, 村田雄二郎, 『中国——社会と文化』 17 号, 中国社会文化学会, 2002 年 6 月, 88-92 頁.
- 「企画の趣旨」, 村田雄二郎, シンポジウム「歴史を書くこと, 語ること——事実・記憶・正統」, 『中国——社会と文化』 18 号, 中国社会文化学会, 2003 年 6 月, 1-2 頁.
- 「2005 年元旦, バマコにて日中を想う (光陰似箭)」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』 684 号, 中国研究所, 2005 年 2 月, 40-41 頁.
- 「個人情報保護と近代史研究 (光陰似箭)」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』 698 号, 中国研究所, 2006 年 4 月, 50-51 頁.
- 「企画の趣旨」, 村田雄二郎, 「小特集: 近現代中国と東アジアの公共性——自由と統制をめぐる」, 『中国——社会と文化』 22 号, 中国社会文化学会, 2007 年 6 月, 200-202 頁.
- 「現代中国研究と訓詁学 (光陰似箭)」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』 728 号, 中国研究所, 2008 年 10 月, 50-51 頁.
- 「6 月のとある日, 駒場キャンパス, 某研究室にて——外貨兌換券をめぐる教師と学生の会話」, 村田雄二郎, 『UP』 2009 年 9 月号, 東京大学出版会, 20-28 頁.
- 「ドアの内と外——各人自掃門前雪, … (光陰似箭)」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』 741 号, 中国研究所, 2009 年 11 月, 60 頁.
- 吳重慶「孫村 ある共時的コミュニティー——「ポスト革命時代」の人と鬼と神」(宮田義矢訳), 村田雄二郎(解題), 『思想』 1026 号, 岩波書店, 2009 年 10 月, 104-107 頁. [英訳: Appendix to Part 1 of Chapter 2, in Wu Chongqing, *The Path to Sun Village: Gods, Ghosts, and People in a Post-Revolutionary Society*, translated by Matthew A. Hale, Leiden/Boston: Brill, July 2017, pp. 79-83.]

- 「世界史 Q & A: 近代中国の「国語」統一について教えてください」, 村田雄二郎, 『歴史と地理——世界史の研究』226号, 山川出版社, 2011年2月, 45-47頁.
- 「辛亥百年(光陰似箭)」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』764号, 中国研究所, 2011年10月, 53頁.
- 「座談会 清朝と辛亥革命」, 馬場公彦・宮脇淳子・村田雄二郎, 『アジア遊学148 王朝から国民国家へ——清朝崩壊100年』勉誠出版, 2011年12月, 17-32頁.
- 「曹雪芹『紅樓夢』」, 村田雄二郎, 東京大学出版会『UP』編集部編『ブックガイド 東大教師が新入生にすすめる本』東京大学出版会, 2012年4月, 32頁.
- “Introduction: 1911 Revolution at the Boundaries,” MURATA Yujiro, *The Journal of Contemporary China Studies*, No. 3. No.1, Waseda Institute of Contemporary Chinese Studies, Waseda University, March 2014, pp. 3-5.
- 「いまこそ袁世凱研究を(光陰似箭)」, 村田雄二郎, 『中国研究月報』66-12, 中国研究所, 2012年12月, 47-48頁.
- 張玉萍『戴季陶与日本』, 村田雄二郎(序), 北京: 北京大学出版社, 2014年6月, 全352頁.
- 「回顧婦女雜誌研究会: 祝賀近代史研究所成立六十周年」, 村田雄二郎, 『近史所——甲子: 同仁憶往録』(上下2冊), 台北: 中央研究院近代史研究所, 2015年2月, 378-379頁. 中国語.
- 「犬も食わない名前」, 村田雄二郎, 岩波書店辞典編集部編『世界の名前』岩波書店, 2016年3月, 111-113頁.
- 「文化大革命という亡霊(文化大革命から五十年: 研究対象としての文革/記憶の中の文革)」, 村田雄二郎・馬場公彦・尾崎文昭・坂元ひろ子, 『中国——社会と文化』32号, 中国社会文化学会, 2017年9月, 46-85頁.